

小児がんAYA世代がん

Plan 計画

- 1: 小児・AYA 世代がん診療の更なる充実のための議論と情報提供(広報活動)を行う。
 - 1-1 東京都小児がん診療病院運営委員会(臨時)を開催(隔月)
 - 1-2 小児がん地域連携推進研修会開催
 - 1-3 病院ホームページの掲載内容更新
- 2: 当病院の患者数や診療実績及び診療体制の把握と情報共有を行い、当病院の課題に対する評価・検討を行う。
- 3: 小児・AYA 世代がんの施策等に関する情報収集及び他施設との情報交換を行う。(主に東京都の各部会・WGを通じて)
- 4: 研修会等の機会に積極的に参加することで、個々のスキルアップと同時に院内へのフィードバックに努める。
- 5: 小児がん拠点病院への選定を目指して、課題解決のために必要な議論を重点的に行っていく。



Do 実行

- 1-1: 令和4年度に委員会を5回開催
- 1-2: 練馬光が丘病院と共催で、令和4年度小児がん地域連携推進研修会を開催(R05/03/22)
- 2-1: 東京都小児がん連携病院現況報告書提出
- 2-2: 関東甲信越地域小児がん連携病院現況報告書提出
- 2-3: 小児がん連携病院 QI を提出(2019年、2020年症例)
- 3: 東京都小児・AYA 世代がん診療連携協議会及び各WGに参加
- 4: 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会及びアドバンス研修に参加(計6名)

- 5: 小児がん拠点病院整備指針更新に伴い、次期「小児がん拠点病院」の新規指定申請を行った。

Action 改善



- 1-1: 引き続き、委員会開催を通じて、情報共有と共に議論を進めていく。
- 1-2: 次年度も同研修会を開催予定とする。開催地域(共催)、開催案内方法等を検討し、参加者がより多くなるための検討を行う。
- 1-3: 病院ホームページの「小児がん AYA 世代がん」の掲載箇所のアップデートを行い、掲載内容をより充実させるための検討を行う。
- 1-4: PDCA サイクルの実施状況について継続的に検討する機会を作り、より効果的なPDCA サイクルの構築を目指す。
- 2-1, 2-2, 2-3: 次年度も引き続き、当委員会として当該各データ及び指定要件の確認と情報共有を継続する。
- 3: 引き続き各部会・WGでの協議事項を当委員会で情報共有を行う。
- 4: 次年度の各研修会への参加者の選出及び参加を促すことに努める。

- 5: 今後の委員会での議論にて、次回の小児がん拠点病院の指定申請に向けて、課題や改善点の抽出に関する議論を重点的に行う。
さらに、現場各人の努力で対応すること、病院としての協力を求めることが必要なこと、等の区分け・整理を行う。
- 6: コロナ禍が明けることを踏まえて、院内学級(特に対面授業)など制限されていた事項を再構築し、コロナ禍以前よりも充実した小児がん・AYA 世代がんの医療体制を目指す。



Check 評価



- 1-1: 5回の開催全てオンラインで開催し、上記Doで記載の事案について、委員会で情報共有及び議論を行った。
- 1-2: 前年度と同様にオンラインで研修会開催、申込者、参加者共に前年度よりも大幅に上回る結果となり、参加者からのアンケートも良好な結果であった。
- 2-1, 2-2, 2-3: 小児がん拠点病院への新規指定申請を行うことを踏まえて各指標項目についての詳細な検討を行った
- 3: 各部会・WGでの協議事項を当委員会で情報共有を行い、必要に応じて委員会内での議論・検討を行った。
- 4: 次年度も可能な限り、当該各研修会に参加することとなった。

- 5: 厚生労働省及び「小児がん拠点病院の指定に関する検討会」での選定の結果、小児がん拠点病院の選定には至らなかった。
次回の小児がん拠点病院の選定に、指定申請を行うことを委員会にて決定。